

動物園ライター・森 由民氏 講演会

動物園はだれのもの？

日時：2015年1月17日(土)
13:30~15:30
(受付 13:00~)

会場：到津の森公園 子どもホール1階
北九州市小倉北区上到津 4-1-8

参加費：無料 (但し、別途入園料及び駐車料金は必要)

入園料：大人 800円/中・高校生 400円/4歳~小学生 100円

駐車場料金：普通車 600円/1日

知ると楽しい!
面白い!
動物園の魅力
再発見!

☆クリスマスリースを作ろう☆

市民ボランティア「森の仲間たち」の主催により、
松ぼっくりなどの自然素材を使って手作りします。

日時 12月14日(日) 13:00~15:00 ※受付は12:45から
※限定約40個、材料がなくなり次第終了
場所 里のいきもの館 レクチャールームにて
参加費 1個300円 (別途要入園料)



※なお、年末年始は12/29(月)~1/1(木)まで休園し、
新年は1/2(金)から開園いたします。
(1月2日・3日は10:00~17:00の営業です。)

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>



森のお便り 12月号 2014年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」14年12月1日発行 通巻142号

到津の森のクリスマスフェア

今年もクリスマスの季節になりました。
フェア期間中は、園内にクリスマス音楽が流れ、あちこちに
クリスマスのデコレーションが登場します。動物たちにケーキ
のプレゼントなど、イベントももりだくさん!
あなたも動物たちと一緒にクリスマスを過ごしませんか?

12月1日(月)~25日(木)

※12月23日をのぞく火曜日は休園

☆動物たちにクリスマスのプレゼント☆

飼育スタッフお手製のケーキをプレゼント!
どんなふう食べるかな?

◆ソウ 12月20日(土)・21日(日)・23日(火・祝) 各日 11:30~

◆チンパンジー 12月21日(日)・23日(火・祝)・25日(木)

各日 12:45~ ※25日は来園者の手作り

来園者が手作りします。あなたも参加してみませんか?

※要事前申込(ヤギをのぞく)※

◆キツネザルにクリスマスのごちそうをプレゼント

12月20日(土) 13:30~ ※4組限定

◆ウサギとモルモットにクリスマスのごちそうをプレゼント

12月21日(日) 15:00~ ※6組限定

◆チンパンジーにクリスマスケーキをプレゼント

12月25日(木) 11:00~ ※5組限定

上記3イベントとも、12/3~ 電話にて事前申込受付

(先着順に受け付け、定員に達し次第受付終了)

◆ヤギにクリスマスツリーをプレゼント

12月23日(火・祝) 10:30~飾り付け/15:30~プレゼント



秋口、今年の園内は紅葉が早そうと感じていたのですが案外進まず、例年通り、11月末から12月となりました。

サクラ・ハゼの紅、クヌギ・ナラ・ケヤキ類の黄、そして「姿見の池」の水面に映えるイロハモミジの紅はひときわです。

年々歳々の紅葉ですが、今年私の目にとまったのはアキニレでした。バードケージ内や「郷土の森」に見られるごく地味な落葉広葉樹です。市内の街路樹に用いられてもいますね。

同じ仲間のケヤキの端正な姿・ハルニレの若葉の豪華さに比べると葉は小さく、落葉樹としては固く中途半端な光沢で、ありていに言うとショボイ印象のアキニレです。

でも日光や風のあたり具合からか、1本の木でさえ緑を残す枝や、紅や黄に紅葉した葉と染め分けられ、陽を透かして見える姿はなかなかの風情です。郊外へ出かけた折には荒れた原野や河原などに見られ、いかにも雑木という感じ。

何故こんな木が街路樹に用いられるのでしょうか。

まずは緑陰樹(夏日光をさえぎり、冬には落葉)として大変有用で、成長は早い方ではないが病虫害に強い。刈り込みに強く葉が小さい為処理が簡単。これは私の実家の周囲の街路樹がプラタナスの為、高齢者ばかりの住人は落葉の掃除に、ほとんど苦労しているので実感です。

海岸線に沿って発展した都市部では思った以上に潮害が強く、広葉樹にしては葉の厚いアキニレは塩分が浸み込みにくく、塩の被害が少ないなどの理由のようです。

北日本に多いハルニレ(エルム)は名前も姿もロマンチックで、とてもファンが多いのですが、「アキニレが大好き」という方に会った事はありません。ただし盆栽界では“ニレケヤキ”として昔から愛されているとの事。

人々に見守られ事なく荒れ地の緑化に、また都会の緑陰樹として役立ってくれているアキニレも「郷土の森」の一員として、もっとすくすく育って欲しいと思います。

文：花咲くおばさん

花暦師走

森の仲間たち・ロバ

「ミカン」のがんばり！

今年も早いもので、残すところあとわずかとなりましたね。ウマ年最後はウマ科のロバのお話です。

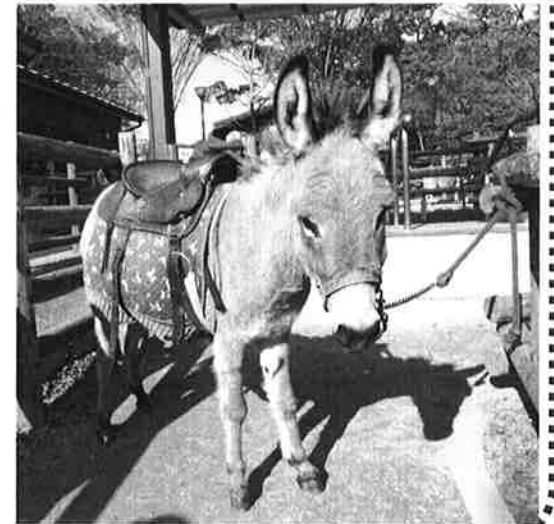
一昨年に誕生したロバの「ミカン」は、来年の乗馬デビューに向けて、毎日の練習に励んでいます。人懐っこく、好奇心旺盛！何でも来いっ！といった性格の「ミカン」ですが、大好きなお母さんやお姉ちゃん達と離れての練習は、少し寂しい様子です。

それでも、この1年頑張っって練習をして、背中に鞍を付けて重さ20キロの砂袋を乗せ、号令に従って「進む」・「止まる」といった動作を覚えてくれました。

体もだんだんと大きくなって、たくましくなってきた「ミカン」ですが、重さ30キロの砂袋を乗せて歩く練習が、今後まだまだ待っています。

年が明け、来年の夏頃には、「ミカン」の背中に笑顔の子供たちがまたがっていることと思います。

練習中に「ミカン」に出会うことがあれば、「がんばって！」と声援を送ってあげて下さいね。



飼育展示係 中上 志保